

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日岡山学校給食センター	階数	地上2F
建設地	加古川市加古川町大野1530番15 他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年5月25日
敷地面積	7,666 m <sup>2</sup>	作成者	日立建設設計
建築面積	2,075 m <sup>2</sup>	確認日	2019年5月25日
延床面積	2,792 m <sup>2</sup>	確認者	日立建設設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・省エネルギー、省資源により、環境に配慮した工場を目指す。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保する。	・耐震性能の向上。	・全体的なボリュームを抑え、外壁にはシンプルな色調を選定し、周辺地域との調和を図る。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外壁窓には、複層ガラスを採用し、日射による熱負荷を軽減する計画とする。	・調整池を設け、公共施設の排水負荷を軽減する計画とする。	敷地の建物を中心に配置し、敷地境界線からできるだけ離すことで、騒音・臭気の影響を少なくする計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される